

## 振り返ろう！

## 自己救命策確保

## 3つの基本

待ちに待ったゴールデンウィークが近づいてきました。

この大型連休に合わせ、海で釣りをしようという方も多いのではないのでしょうか？

この時期から、海釣りをされる方が増加するため、海中転落事故の発生が増加します。

海に落ちたとき、自分の命を守るためにはどうすればいいのか。

「自己救命策確保3つの基本」について、もう一度振り返ってみましょう。

### ① ライフジャケットの常時着用

救命胴衣は必ず着用しましょう。

自分の命は自分で守る。

家族があなたの帰りを待っています。

### ② 連絡手段の確保

水没しても使用できるよう

防水パック等に入れた  
携帯電話の携行を推奨します。

### ③ 海のもしものは 118番

海上保安庁緊急用ダイヤルです。

関係機関と連携しつつ、  
救助に向かいます!!!!!!



必ず覚えて  
実践してね！

その他に....

- ・ 複数行動の励行
- ・ 立入禁止場所へ侵入しない
- ・ 子供から目を離さない

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609



マリレよろず

検索

マリレ情報よろず屋URL>>> <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/index.html>

## 釣り中の事故事例紹介

事故者は、「釣りに行く。」と家族に言い残し、家を出たまま帰宅しなかったことから、家族がいつも釣り場としている漁港内を捜索中、消波ブロック上に放置された釣り竿を発見するとともに、消波ブロックの隙間にうつ伏せ状態で浮いている事故者を発見、直ちに救急病院に搬送したが、既に死亡していた。

**救命胴衣を着用することはもちろん大事ですが、釣りをする場所にも注意が必要です！**



### ■消波ブロック上に潜む危険

- ①足場が悪く、滑り易い
- ②隙間に落ちると自力で這い上がるのは難しい



**自分の命を守るためには、自らの心がけが重要です！** 



マリレ情報よるず屋  
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト  
(沿岸域情報提供システム)

